

委員名	【報告事項】令和3年度 芦屋川カレッジ及び大学院、春・夏の公民館講座等の実施状況について	【協議事項】令和3年度 秋・冬の公民館講座等の実施予定について
今西 委員長	<p>・芦屋川カレッジについて、コロナ禍の中、受講生の減少があるものの、よく実施できたと評価する。</p> <p>・受講生減少の一因を、雇用延長とされているが、伴って元気な高齢者の増加が推察されるため、問題は、コロナに対する不安に加え、学習経費等の他の要因に発するのではないかと疑問を呈する。</p> <p>→引き続き周辺各市の高齢者大学の状況を調査しながら要因を分析してまいります。</p> <p>・春の公民館講座についても、コロナ禍の中、多くの講座で定員数以上の応募者がおられ、受講されたことを高く評価する。「夏休み子ども教室」含め、他市の同様の講座と比較して特筆される状況である。</p> <p>・常設展示事業については、「竹久夢二のセノオ楽譜展」が良い事業であったと評価する。</p> <p>・「青い鳥学級」「くすのき学級」について、住民の関心度も高いと思われるため、充実した学習の実施を期待している。→実施状況については、令和3年度第2回公民館運営審議会で報告します。</p>	<p>・秋・冬の公民館講座等の実施予定について、例年同様に充実したユニークなプログラムが計画されており、プログラム作りの確かさと新しさを感じている。芦屋という地域の各種学習資源が開発されている企画となっていることを、高く評価する。</p> <p>・新しい講師の名前もみられ、人材の発見が素晴らしい。</p> <p>・阪神間モダニズム文化の一つとして、絵ハガキを研究されている、石戸信也先生がおられるので、関連の講演か展示会を企画されては如何か。（令和4年度以降の新しい事業の提案）</p> <p>・公民館音楽会についても、「芦屋の古楽の源流をたずねて 原田宿命の愛したダンスたち」など、とても興味深い企画があることを評価する。</p>
鹿野委員	<p>・家庭教育セミナーについて、オンライン開催が成功したことは、今後の公民館講座のあり方を探る良い事例となった。オンデマンド配信は、忙しく働く子育て世代の講座参加への間口を広げると評価する。</p> <p>・芦屋川カレッジについて、受講生に様々な役割を分担する係制度は、受講者同士の横の繋がりが深まる良いシステムだと感心する。一方で、受講者向けの冊子を初めて拝読したが、各係の仕事内容、具体には「講師の先生への対応」や「同期会の立ち上げ」等について、自主的に考えることではないかと感じる部分まであらかじめ事細かに決まっており、もう少しゆとりを持たせても良いのではないかと感じた。</p> <p>→係制度については、卒業後、より豊かな人生を共に過ごせる、多くの学友と出会い、交流するためのシステムとして、引き続き内容を見直しながら進めてまいります。</p>	<p>・資料からのみでは様子がよく分からなかったが、例年通りの実施と思い期待している。</p> <p>→実施状況については、令和3年度第2回公民館運営審議会で報告します。</p>
木ノ下 委員	<p>・芦屋川カレッジについて、ターゲットをどこにしているかが分かりにくく、敷居が高く感じた。</p> <p>→芦屋市に居住する満60歳以上で、学習意欲のある方であれば、どなたでも受講していただけます。時事問題、法律、音楽、文学、科学など幅広く日々を豊かに過ごす為の楽しく役に立つ必修講座に加え、日本の和の文化、伝統を幅広く学習する「日本文化コース」、世界情勢や世界の文化、歴史、音楽等を学習する「世界文化コース」を選択していただけます。例年ほぼ定員の受講が有りますが、今年度はコロナに対する不安も有り、受講率が減少しています。</p> <p>・夏休み子ども教室について、自由研究に提出する課題のヒントとなるような教室を増やすなど、子どもが自ら参加する意欲が出るような企画の工夫も必要だと思います。</p> <p>→今年度は、昨年及び一昨年好評だった教室を、全教室の半数継続実施し、残り半分の教室を新設しました。また、「歩き方講座」や「ヨガ教室」などのスポーツプログラムや、「収納学」や「防災ワークショップ」と言った日常生活で役立つ講習も取り入れ、親子での参加を目指しました。結果として、コロナ禍の中、多くの教室で定員数以上の応募者があり、受講されています。</p>	<p>・企画段階から市民が参画するような機会はあるのでしょうか？</p> <p>→年2回開催する公民館運営審議会で、委員から出た意見について、公民館講座等の事業計画に反映することとなっています。委員ご指摘の「子どもが自ら参加する意欲が出るような企画の工夫」についても、令和4年度の夏休み子ども教室を企画する際には、検討させていただきます。</p> <p>・公民館が、最も「身近な学習拠点」として、部屋を貸し出す以外にも、身近な、親しみやすい講座を開設し、足繁く公民館に来てもらう。</p> <p>→貸室事業以外にも、芦屋川カレッジ（大学院）を含む各種講座、子ども教室、音楽会、展示事業等の各種事業を実施していますので、来年度以降もインターネット予約を継続する等、周知方法を工夫してまいります。</p> <p>・その他、子ども食堂を支援する等、コロナ時代における人と人との関係性のあり方を示せるような講座や公民館の活用が必要だと思います。（令和4年度以降の新しい事業の提案）</p>
西本委員	<p>・芦屋川カレッジ及び大学院、公民館講座等の事業全般について、昨今のコロナ禍の社会状況のもとで、多岐にわたる講座を開設し、市民のニーズに貢献したことは、カレッジの受講生等が例年より少ないとは言え、有意義なものであったと評価する。</p> <p>・インターネット予約やオンラインでの講座開催について、手続の利便性に加え、防疫（感染予防対策）の観点からも、適切な方法であると評価する。</p> <p>・報告資料について、過去の当該審議会で報告されていた、各講座の定員、希望者数、許可者数、及び実質的な受講者数の明記が欲しかったところである。</p> <p>→令和3年度第2回公民館運営審議会で、1年分をまとめて報告します。</p>	<p>・ここ数年、人文科学、社会科学領域にとどまらず、自然科学分野の講座についても開設している。加えて内容についても拡充を図っていることを評価する。このような創意工夫を、これからも継続してもらいたい。</p>
池田委員	<p>・どのプログラムも興味深く、素晴らしいものばかりだと評価する。</p> <p>・家庭教育セミナーのオンライン開催について、子どもが小さい時ほど、多くの情報を必要とするが、同時に、「連れて行くのが難しい」「置いて出られない」との実態もあるため、とても良かったと評価する。大変好評であったと、私の方にも報告をいただいている。</p> <p>・夏休み子ども教室について、ネット予約は本当にありがたい。今後も、「より簡単に、予約しやすく」をお願いしたい。</p> <p>→夏休み子ども教室については、来年度以降も、インターネット予約を継続する予定です。</p>	<p>・感染対策を充分にとった上で、可能な限り様々な講座が企画されれば良いと考える。開講に向けた尽力に感謝する。</p>